

安全データシート

1 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ラスティンズ ダニッシュオイル
供給者の会社名称 : (株)リムジンインタナショナル
担当部門 :
住所 : 東京都世田谷区太子堂2-17-16

電話番号 : 0120-901-533
緊急連絡電話番号 : 03-3419-3344
ファクシミリ番号 :
作成日 : 2020/7/14

推奨用途及び使用上の制限

用途セクター[SU] :
推奨用途 : 屋内外の木部用塗料
使用上の制限 : データなし

2 危険有害性の要約

GHS分類 :

引火性液体:区分3
皮膚感作性:区分1
生殖細胞変異原性:区分1B
発がん性:区分1B

注: 急性毒性経口の不明成分は45%。急性毒性経皮の不明成分は45%。急性毒性吸入(気体)の不明成分は45%。急性毒性吸入(蒸気)の不明成分は44%。急性毒性吸入(粉塵/ミスト)の不明成分は44%。水生環境有害性急性毒性の不明成分は46%。水生環境有害性慢性毒性の不明成分は45%。

GHSラベル要素 :

絵表示



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 :

- ・ 引火性液体及び蒸気。
- ・ アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
- ・ 遺伝性疾患のおそれ。
- ・ 発がんのおそれ。

注意書き：**【安全対策】**

- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・熱、高温のもの、火花、裸火、及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- ・容器を密閉しておくこと。
- ・防爆型の[電気機器/換気装置/照明機器]を使用すること。
- ・火花を発生させない工具を使用すること。
- ・静電気放電に対する措置を講ずること。
- ・粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

【応急措置】

- ・皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
- ・皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水[又はシャワー]で洗うこと。
- ・暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
- ・皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- ・火災の場合：消火するために、アルコール耐性の泡、ABC粉末、二酸化炭素(CO2)、乾燥した砂、霧状の水、を使用すること。

【廃棄】

- ・内容物/容器は法令に従って廃棄すること。

【保管】

- ・換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- ・施錠して保管すること。

他の危険有害性：

- ・蒸気が広範囲に拡散して着火源に到達し、発火や火炎の逆流、爆発を引き起こす恐れがある。
- ・この物質は可燃性であり、詳細については 節9 を参照のこと。
- ・この物質は、熱、火花、炎、またはその他の発火源（静電気、パイロットライト、機械/電気設備、本質的に安全と認定されていない電子機器類、例えば携帯電話、コンピュータ、計算機、など）によって発火する可能性がある。
- ・この材料は、流動させる、若しくはかき混ぜることによって帯電し、放電によって発火する可能性がある。
- ・製品の蒸気は空気よりも重いので、床、ピット、下水道、地下室などに、高濃度で溜まる可能性がある。
- ・製品が染み込んだ布切れが自然に酸化し、自然発火する可能性がある。
- ・換気が不十分な場所で使用すると、爆発性/引火性の高い混合物が発生することがある。
- ・たとえ使用後であっても、可燃性成分が完全に蒸発するまでは、爆発的な蒸気 - 空気混合物が形成される危険性がある。

3 組成及び成分情報 混合物

成分名	濃度 %	CAS No.	PRTR種類	労働安全衛生法-通知義務	毒物及び劇物取締法	化審法整理番号	化審法対象物質
C9、C10のアルキルシクロヘキサン混合物	40~45%	64742-48-9					
COBALT 6	0~5%	13586-82-8		●			
ZIRCONIUM DRIER	0~5%						
メチルエチルケトオキシム	0~5%	96-29-7					
メタノール	0~5%	67-56-1		●		2-201	優先評価化学物質
アルキド樹脂	50~55%	63148-69-6					

濃度限界未満だがSDS作成濃度以上の成分：

COBALT 6, 0.59%, 皮膚感作性区分1, 生殖毒性区分2；
 メタノール, 0.13%, 生殖毒性区分1B；
 メチルエチルケトオキシム, 0.14%, 皮膚感作性区分1, 発癌性区分2；

4 応急措置

応急措置の描写

一般的な注意事項：

疑わしい場合あるいは症状が現れている場合は、必ず医師に相談すること。

吸入した場合：

自分の安全を確保しつつ、被災者を蒸気発生源から遠ざける。医師に相談する。

皮膚に付着した場合

直ちに以下のもので洗浄すること：

直ちに、多量の水と石けんで洗い流す。

熱い溶解物に触れた際には、(次のもの)で皮膚を手当てすること：

非該当

使用してはならない洗浄液：

データなし

眼に入った場合：

眼に触れたときは、直ちに瞼を開けた状態で10~15分程度流水で眼を洗浄し、眼科医の診察を受けること。

飲み込んだ場合：

口を念入りにすすぎ、医者に相談すること。

飲み込んだ場合、直ちに(以下のものを)飲ませること：

データなし

応急措置をする者の保護に必要な注意事項：

データなし

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

症状

以下の症状が表われ得る：

皮膚に触れると、その部分が発赤しかぶれることがある。目に入ると、発赤し炎症を起こすことがある。口に入ると、口内や喉がひりひりして発赤することがある。蒸気を吸引すると、胸が締め付けられるような感覚を伴って喉がひりひりすることがある。咳や喘息を引き起こすことがある。

影響：

短期ばく露の直後に影響が現れると予想される。

医師に対する特別な注意事項：

データなし

特別な治療：

目に入った場合に備えて、目の洗浄器を常備すべきである。

5 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤：

容器を冷却する為の霧状の水、粉末消火剤、炭酸ガス、耐アルコール性の泡が有効である。

使ってはならない消火剤：

データなし

火災時の特有な危険有害性

危険有害な燃焼生成物：

燃焼すると有毒なガスが発生する。発生した蒸気は空気と混合して爆発性の混合ガスを形成する。

消火作業へのアドバイス

消火作業の保護具：

自給式呼吸器を着用すること。皮膚や目との接触を防ぐために防護服を着用すること。

その他のデータ：

安全に実行可能であれば、破損していない容器を危険区域から遠ざけること。火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

人体に対する注意事項：

屋外の場合は、火元の風下側に近づかない。屋外の場合は、傍観者を風上に誘導し危険な場所に近づけない。汚染されたエリアに印をつけ、許可されていない人の立ち入りを防ぐ。漏れ出している容器は、可能であれば、さらなる漏れを防ぐために漏れ口を上方に向ける（起こす）。可能な限り、全ての発火源を取り除く。個人保護の詳細については、SDSの節8を参照すること。

保護具：

耐油性手袋 保護眼鏡

緊急時の措置：

すべての発火源を除去すること。人々を安全な場所に避難させること。海上の場合は、オイルフェンスを張り、拡散を防止する。

環境に対する注意事項：

下水道、あるいは自然水系に流出させないこと。防護壁を用いて流出物を封じこ

封じ込め及び浄化の方法・機材

封じ込めに関して

取り除くために適した材質：

乾燥した土や砂に吸収させる。

浄化にあたって

希釈あるいは中和のために適した材料：

データなし

他の項を参照：

安全取扱い：参照箇所 節 7 廃棄物処理：参照箇所 節 13 個人用保護具：参照箇所 節 8

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

防護措置

安全な取扱いの為のアドバイス

忌避事項：

蒸気またはミスト/エアゾールの吸引

取り扱い時に充填するガス：

データなし

取り扱い時に充填する液体：

非該当

注意事項：

物質に直接手を触れないこと。作業場所の換気を十分に行うこと。閉ざされた空間（部屋）で取り扱かわないこと。ミストの発生や拡散を避けること。喫煙は禁止。火花が発生しない材質の工具を使用する。

火災防止のための措置

湿潤状態を保持するための物質：

データなし

混合禁止物質：

酸 酸化剤

隔離すべき物質：

酸 酸化剤

注意事項：

蒸気は、空気と比較して比重が大きく、床上を拡散し、空気と爆発性混合気を形成する。爆発の危険があるため、その蒸気の地下室、下水道、抗への流入を防ぐこと。製品は熱くなると、可燃性の蒸気を発生する。作業時には、禁煙である。静電気対策を講じること。涼しく換気の良い場所に保管する。容器の蓋はしっかりと密閉する。着火源から遠ざける。容器の近くでは静電気の蓄積を防ぐ。防爆型の照明・電気機器を使用する。

エアゾールおよび粉塵生成を回避するための対策

充填、計量、サンプリング時に使用すべき装置：

データなし

以下のタイプの局所換気を用いること：

煙/蒸気に対応した排気フード。

環境に対する注意事項：

マンホールや下水道は、その製品が流入するのを防ぐこと。参照箇所 節8。

特定の要求あるいは取り扱い規則：

データなし

一般的な労働衛生上の注意事項：

職場では、飲食、喫煙、鼻をかむことはしないこと。汚れた衣服は、再使用する前に、洗わなければならない。休憩前や就業後は、手と顔を念入りに洗うこと、必要であればシャワーを浴びること。汚染された衣服、靴またはストッキングはすべて直ちに脱ぐこと。皮膚、眼、衣服との接触を避けること。

保管

包装材料

容器または設備向けに適切な材料：

元の容器でのみ保管する（別の容器に移しての保管はしない）。

容器または設備向けには、不適切な材料：

ガラス、陶器、プラスチックなどの破損しやすい容器では保管しない。

共同貯蔵に関する注意事項

保管分類：

可燃性液状物質

混触禁止物質：

酸化剤 強酸

保管条件に関するその他情報：

容器は元のものに限り、涼しく換気のよい場所に保管すること。パッケージと可燃性材料は分けて保管すること。風通しの良い乾燥した場所に保存すること。使用しないときは、容器の蓋をしっかりと閉めること。

8 ばく露防止及び保護措置

管理パラメーター

ばく露限界値：

成分	CAS NO.	国	許容濃度		最大許容濃度	
			mg/m3	ppm	mg/m3	ppm
メタノール	67-56-1	JP	260	200		

生物学的限界値：

成分	CAS NO.	国	単位	限界値	パラメータ
メタノール	67-56-1	JP	mg/L	20	Methanol

ばく露制御

設備対策

最初に：個人用保護具の種類とその用途に関する詳細なガイダンスについては、安全管理者または産業医に問い合わせること。

物質/混合物の使用中所けるばく露防止の関連対策：

換気（窓やドアを開ける）が必要。

ばく露を防ぐための技術的な対策：

使用場所の換気が十分であることを確認すること。防爆型の照明・電気設備であることを確認する。

個人用保護具

眼の保護具

適切な眼の保護：

保護眼鏡

注意事項：

非常用に、目の洗浄設備を備えること。

手の保護具

適切な手袋の種類：

保護手袋の着用

適した材料：

CR（ポリクロロプレン、クロロプレンゴム） NBR（ニトリルゴム） FKM（フッ化ゴム）

要求される特性：

静電気防止性 液漏れしない 耐油性

注意事項：

データなし

皮膚及び身体の保護具

適切な保護具：

防護服

要求される特性：

静電気防止性 タイプ3 液体不浸透性

推奨される材料：

FKM(フッ化ゴム) NBR(ニトリルゴム) CR(ポリクロロブレン、クロロブレンゴム)

呼吸用保護具

呼吸用保護具が必要なケース：

不十分な換気。 より多くの量の取り扱い。 高い濃度。

経験的に呼吸用保護具が必要な作業：

データなし

適切な呼吸用保護具：

自給式呼吸器

注意事項：

技術的な吸引または換気対策が、不可能もしくは不十分ならば、呼吸保護具を着用しなければならない。 緊急時に備えて、自給式呼吸器を備えておく。

環境ばく露管理

ばく露を防ぐための技術的な対策

排気ガス洗浄に用いるフィルターのタイプ：

データなし

排ガス洗浄に用いる再生・削減技術：

データなし

排水に適用する化学処理方法：

データなし

9 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	イエローブラウン(黄褐色)
臭い	パラフィン臭
融点/凝固点	データなし/データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	有り
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	23~55℃
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	非水溶性
n-オクタノール/水分配係数 (log値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	0.84 @20℃
相対ガス密度	データなし
粒子特性	非該当

10 安定性及び反応性

反応性：

推奨される保管条件および輸送条件では安定である。

安定性：

通常の状態および室温では安定である。

危険有害反応可能性

溶融した場合：

室温では液体である。

気化した場合：

引火の危険性

凍結した場合：

容器破損の危険

避けるべき条件

乾燥状態:

非該当

隔離された状態:

データなし

微細分散/噴霧/ミストの状態 :

引火の危険性

暖めた場合:

加熱して分解すると、刺激性の煙と蒸気が発生する。

光が影響する場合:

直射日光は避けるべきである。

衝撃や圧力の影響を受けた場合:

データなし

空気流入の場合:

データなし

貯蔵時間を越えた場合:

データなし

貯蔵温度を越えた場合:

高温になると引火性ガスが発生する。

混触危険物質

避けるべき物質:

強酸化剤 強酸

危険有害な分解生成物 :

燃焼した場合、有毒な蒸気が発生する。

追加情報 :

現在のところ有用な情報なし。

11 有害性情報

毒性学的影響に対する情報 :

急性毒性 経口

メチルエチルケトオキシム(区分4)LD50 930mg/kg

急性毒性 経皮

メチルエチルケトオキシム(区分4)LD50 1000mg/kg

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

メタノール(区分2A) /メチルエチルケトオキシム(区分2A) /COBALT 6(区分2A)

皮膚感作性

メチルエチルケトオキシム(区分1) /COBALT 6(区分1) /ZIRCONIUM DRIER(区分1)

生殖細胞変異原性

C9、C10のアルキルシクロヘキサン混合物(区分1B)

発がん性

メチルエチルケトオキシム(区分2) /C9、C10のアルキルシクロヘキサン混合物(区分1B)

生殖毒性

メタノール(区分1B) /COBALT 6(区分2)

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

メタノール(区分1) /メタノール(区分3 (麻酔作用))

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

メタノール(区分1) /メチルエチルケトオキシム(区分1)

誤えん有害性

C9、C10のアルキルシクロヘキサン混合物(区分1)

物理的、化学的及び毒性学的特性に関する症状

経口摂取の場合：

飲み込むと、口や喉に痛みや発赤が出る可能性がある。

皮膚接触の場合：

接触部位に痛みや発赤が生じる可能性がある。

吸入した場合：

胸部が圧迫されて喉が刺激される可能性がある。 気管がゼーゼーすることがある。

追加他情報：

短時間のばく露で、直ぐに症状が現れる。

12 環境影響情報

生態毒性：

データなし

残留性・分解性：

生分解性

生体蓄積性：

生体内蓄積の可能性はない。

土壌中の移動性：

土壌に吸収され易い。

オゾン層への有害性：

データなし

追加環境毒性学情報：

この製品は、PBT/vPvB物質として認識されていない。

13 廃棄上の注意

廃棄物処理方法

製品/包装材料の廃棄

危険有害性をもたらす廃棄物の特性：

可燃性 SDSの 節11、節12 を参照のこと。

廃棄物処理方法のオプション

適切な廃棄方法/残余廃棄物：

適切な容器に移し、専門の廃棄業者に引き渡すこと。

適切な廃棄処理/汚染容器と包装：

汚染された包装は、物質そのものと同様に扱うこと。

注意事項：

データなし

14 輸送上の注意

国連番号

陸上輸送 (ADR/RID) 1263

内陸水運 (ADN) 1263

海上輸送 (IMDG) 1263

航空輸送 (ICAO-TI / IATA-DGR) 1263

国連輸送名

陸上輸送 (ADR/RID) Paint

内陸水運 (ADN) Paint

海上輸送 (IMDG)	Paint
航空輸送 (ICAO-TI / IATA-DGR)	Paint
国連分類	
陸上輸送 (ADR/RID)	3
内陸水運 (ADN)	3
海上輸送 (IMDG)	3
航空輸送 (ICAO-TI / IATA-DGR)	3
容器等級	
陸上輸送 (ADR/RID)	I
内陸水運 (ADN)	I
海上輸送 (IMDG)	I
航空輸送 (ICAO-TI / IATA-DGR)	I
環境に対する有害性	
陸上輸送 (ADR/RID)	非該当
内陸水運 (ADN)	非該当
海上輸送 (IMDG)	非該当
航空輸送 (ICAO-TI / IATA-DGR)	非該当
MARPOL 条約73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送	非該当
海洋汚染物質	該当

国内規則がある場合の規制情報

- 陸上輸送： 消防法、毒物及び劇物取締法、高圧ガス保安法に従う。
- 海上輸送： 船舶安全法、港則法に従う。
- 航空輸送： 航空法に従う。

15 適用法令

毒物及び劇物取締法： 本製品は毒物及び劇物取締法の毒物及び劇物には該当しない

労働安全衛生法第57条に基づく表示：
COBALT 6；

労働安全衛生法「通知義務」に該当する成分：
メタノール；COBALT 6；

労働安全衛生法 特定化学物質障害予防規則：
該当せず

労働安全衛生法 有機溶剤中毒予防規則：
該当せず

労働安全衛生法 がん原生に係る指針対象物質：
該当せず

労働安全衛生法 強い変異原性が認められた化学物質：
該当せず

労働安全衛生法 鉛・四アルキル鉛中毒予防規則：
該当せず

化学物質管理促進法 (PRTR)：
該当せず

消防法：
危険物：危険物第四類 第二石油類 危険等級Ⅲ 非水溶性

化審法：

優先評価化学物質：
メタノール 2-201；

水質汚濁防止法：

該当せず

土壌汚染対策法：

該当せず

特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律：

該当せず

危険物船舶運送及び貯蔵規則：

引火性液体類 3

航空法施行規則：

引火性液体 3

16 その他の情報**参考文献：**

JISZ 7253-2019_GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル・作業場内の表示及び安全データシート (SDS)、
JIS 7252-2019_GHSに基づく化学物質等の分類方法、
Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals(GHS) 6th revised edition by UNITED NATIONS、
緊急時応急措置指針「ERG 2016版」容器イエローカードへの適用、
経済産業省発行事業者向けGHS分類ガイダンス平成25年7月、
独立行政法人製品評価技術基盤機構監修のGHS分類物質一覧、
一般財団法人化学物質評価研究機構 (CERI)公開の化学物質ハザードデータ集。

責任の限定について：

本記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、法令の改正や新しい知見により改訂されることがあります。本製品を扱う場合は記載内容を参考にして、使用者の責任において実態に即した安全対策を講じてください。尚、本製品安全データシートは安全や品質の保証書ではありません。